

自主防災組織とは？

大規模な災害発生時には、建物の倒壊、道路の寸断や通信手段の混乱などから、役場や防災関係機関の機動力が到達するまでには時間がかかることも想定されます。そこで、各関係機関が到達するまでに住民皆さんの力で隣近所の救出や火災の初期消火など被害拡大を防ぐため、各自治会で自主防災隊を組織しています。

日頃から、自治会の集まりなどを利用して、防災について話し合ったり、住民皆さん同士のコミュニケーションを図り、いつくるかわからない災害に備えましょう。



活動内容と役割分担

●平常時の活動

- ・ 防災知識の普及

正しい知識を身につけるため、防災訓練などを通じて防災知識の普及を図る。

- ・ 地域内の防災環境の確認

災害が発生したときに、地域内に被害の拡大につながる原因はないか確認する。援助の必要なお年寄りや身体の不自由な人を把握しコミュニケーションをとっておく。

- ・ 防災訓練の実施

日頃から災害に備え訓練をし、防災活動に必要な知識や技術を習得する。



●災害時の活動

- ・ 災害に関する情報の収集と情報伝達に協力しましょう。
- ・ 出火防止及び初期消火活動に協力しましょう。
- ・ 避難経路・避難所の安全確認と誘導。
- ・ お年寄りや身体の不自由な人への対応に協力しましょう。
- ・ 応急救護態勢を整え、負傷者の救出、救護所への搬送に協力しましょう。
- ・ 水や食料を配分し給食・給水活動に協力しましょう。

